

	目指す児童の姿	学校の自己評価コメント	自己評価	学校関係者評価コメント	関係者評価
体力の向上と安全教育の推進	自分の体力に関心を持ち目標を立てて体力を向上しようとする子ども	体力テストにおいて全員C判定以上を目指す A判定7名、B判定16名という結果で、A・B両判定合わせると全校児童の約77%となります。また、C判定3名まで含めると約87%となり、概ね良好な結果を残していると言えます。ただD・E判定も4名おり、体力面の二極化傾向は本校でも窺えます。水泳指導や持久走、なわとび練習等の充実の継続をしつつ、日常の体育学習指導の充実を図りたいと考えます。	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ○ A判定が7名という点は非常に高評価だと思います。 ○ 次年度は、D・E判定の児童を一人でも多くC判定になるよう各運動の継続、体育学習指導の今後ますますの充実を期待しています。 ○ 運動が苦手な児童が、できるところから運動する習慣が身に付くことを期待します。 	3.4
	自己管理能力や健康的な生活習慣を身に付けた子ども	むし歯治療に取り組む家庭85%を目指す 健康診断結果をもとに長期休業前を中心に繰り返し治療勧告を行いました。また、個別の声かけや保健だよりによる保護者への啓発も積極的に行いました。現在の状況は、約90%の家庭が治療に取り組んでいるところです。	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の自己管理、習慣については、保護者の意識の問題が非常に大きいと思いますので、今後も啓発活動を続けてほしいです。 ○ 児童にも様々な角度からむし歯に対する知識と治療の重要性の指導をお願いします。 	3.5
		午後10時前就寝100%・朝食摂取100%を目指す 2月末の段階では、10時前就寝が95%、朝食摂取が96%の達成状況です。毎月のエチケットチェック週間での結果をもとに、学級担任の個別指導や養護教諭による睡眠、朝食の大切さについての全体指導を行ってきました。今後も100%を目指して各家庭への啓発を継続していきたいと考えます。	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 就寝については、習い事などが原因での遅寝が必ずあると思いますので、十分な結果だと思います。 ○ 朝食摂取100%についてはぜひ実現してもらいたいです。 	3.8
安全に気を付け、楽しい学校生活を送ろうとする子ども	事故ゼロを目指す 毎週水曜日の集団下校時には必ず安全指導を実施し、気持ちの引き締めを徹底してきました。また、防災教育（地震・津波の避難訓練、火災の避難訓練）を繰り返し実施し、いざというときに落ち着いた行動がとれるように指導を繰り返しました。	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災訓練は、保護者・地域連携での訓練があればよいと思います。 ○ 避難場所を保護者が把握しているか、緊急連絡等が実際に機能するか心配です。 ○ 海が近いので、水の事故には特に気を付けてほしいです。 	3.5	

	目指す 児童の姿	学校の自己評価コメント	自己 評価	学校関係者評価コメント	関係者 評 価
基本的な生活習慣の定着と豊かな心の育成	正しい言葉遣いや元気なあいさつや返事ができる子ども	元気のよいあいさつができる子どもも100%を目指す 進んで、どこでも元気のよいあいさつができるように声かけを続けてきました。その結果、児童・保護者の自己評価の集計結果でも評価(3.8)が高く、児童が地域でも積極的にあいさつができるようになってきていると考えられます。	3.0	○ 自分からあいさつができると、もっといいと思います。 ○ あまり接点のない地域住民へのあいさつは、少し不得意のような気がします。 ○ 「ありがとう」を言い忘れる児童が気になります。	3.2
		学校のきまりを意識して守る子どもも100%、非行ゼロを目指す 全教育活動を通して、小さな違反を見逃さずに規則の遵守について指導を行ってきました。また、わずかな言葉遣いの乱れについても指導の徹底を図ることができました。保護者から学校に対しても高い評価(3.7)をいただきました。	3.2	○ きまりについては、学校だけでなく、家庭でもしっかり守ってほしいです。 ○ 言葉遣いに関しては、親や周りの大人の影響が非常にあると思いますので、保護者への啓発も必要かと思えます。	3.5
	整理整頓や進んでボランティア活動ができる子ども	掃除やボランティア活動に進んで取り組む子どもも100%を目指す 児童会が中心となり、始業前に主体的に玄関や中庭の清掃等に取り組む姿が見られました。また、掃除の時間には、無言で時間いっぱい取り組む姿が見られました。 後片付け・整理整頓について、職員(2.9)、保護者(2.7)と評価が低く、指導の徹底を図っていきたいと考えます。	3.2	○ 掃除やボランティア活動の意味や喜びを理解できれば、さらに意味のある後片付け、整理整頓に繋がると思えます。	3.3
	さまざまな集団に進んでかかわる子ども	友だちとかかわることが好きな子どもも100%を目指す 本校は小規模学校であるため異学年交流の場数を数多く設定し、学年を越えて友達と仲良くかかわる機会を設けました。また、有明小学校など、他校との交流も実施しましたが、今後は、新しい串間中学校への入学を見据えて、いろいろな形の小学校間連携を工夫し、より多くの友達とかかわる場面を模索していきたいと考えます。	3.3	○ 児童数が少ないので、引っ込み思案になりがちです。しっかり自分から声をかけたりできるようになることを期待しています。 ○ 他校との交流をこれまで以上に期待しています。	3.5

	目指す児童の姿	学校の自己評価コメント	自己評価	学校関係者評価コメント	関係者評価
基礎基本の定着と学力の向上	<p>進んで学習に取り組み、根気強く課題に取り組む子ども</p>	<p>市学力調査 (CRT) で全国比 (100) 以上を目指す 全国平均を100とした時に、本校は国語(約99.7)、算数(約97.3)という結果でした。これは、1月に実施した市学力調査の結果です。個人差が大きいという実態もありますが、結果分析等を十分に言いながら、手立てを講じていきたいと考えています。 また、国語・算数は、3年生以上は複式指導で授業を行っています。授業における指導方法の改善や家庭学習における課題の出し方、取り組ませ方、個別指導の時間の確保等が本校の学力向上に向けての課題であると考えています。</p>	2.5	<p>○ 「進んで学習に取り組み、根気強く課題に取り組む子ども」の向上を目指す上においては、結果の前の目的及び過程が重要だと思います。 ○ これからも苦手なところの克服を期待しています。</p>	2.6
	<p>友達の考えに反応し、自分の考えを表現できる子ども</p>	<p>進んで発表できる子ども100%を目指す 児童集会や諸行事、給食時間の校内放送等、発表の機会を数多く設定し、自分の思いや考えを相手に伝えられるように、表現方法の指導を継続して行ってきました。その際、発表を聞くだけではなく、発表後に意見・感想を述べる時間を設け、友だちの意見を自分の意見と比較しながら聞くことにも取り組みました。その結果、友だちの意見を聞き、発言内容を工夫するなどの力も高まりつつあります。</p>	3.2	<p>○ 参観授業やPTA活動における子どもたちの積極的な発言は素晴らしいと思います。また、内容に沿った個性あふれる発言が多いので、個性を伸ばす教育が金谷小学校にはあると思っています。</p>	3.5
	<p>進んで本に親しむ子ども</p>	<p>年間読書冊数 低50・中60・高70冊以上を目指す 読書貯金通帳への記録、推薦図書コーナーの設置等、図書担当の指導の工夫や市立図書館との連携により、すべての児童が年間読書冊数目標に到達することができました。また、「お話し会」(読み聞かせボランティア)の方々による読み聞かせの実施により、本への親しみを深めることができましたと考えます。</p>	3.2	<p>○ 家庭でもっと読書をするようになることを期待しています。 ○ 数的にはよく本を読んでいるようですが、本を楽しんでいるのか、感動をしているのかは分かりません。しかし、目標を達成した点と学力向上にはよいと思います。</p>	3.2

	目指す児童の姿	学校の自己評価コメント	自己評価	学校関係者評価コメント	関係者評価
地域に根ざした特色ある学校づくり	ふるさと「金谷」に誇りを持ち、地域に積極的に関わり、地域のことを学ぼうとする子ども	串間市・金谷地区が好きと答える子ども100%を目指す 保護者の方々が企画してくださった「くしま探究学」や「浜っ子応援隊」の活動への参加をとおして、児童はたくさんの「串間・金谷のよさ」に触れることができました。そして、ふるさとに誇りをもてるようになっていると考えます。	3.7	○ 地域の自然や資源、人との触れ合い、交流が非常によいと思います。	3.6
		地域の素材や人材を生かした体験的な活動を学期2回以上実践する 各教科等の授業や学校行事等において、地域の方にご協力いただきながらの学習活動に数多く取り組んできました。また「くしま探究学」や「浜っ子応援隊」の活動においても、保護者の方々のご協力で、児童は地域のことをたくさん学ぶことができました。	3.7	○ P T A活動、浜っ子応援隊と充実した活動の中で、多くの体験ができています。	3.6
	地域に開かれた学校の教育活動と情報発信	学校の教育活動の発信（通信・WEB・投稿等）を週1回以上目指す 学校通信「金谷小便り」、各学級の学級通信等をとおして、児童や学校の様子を保護者や地域の方に知っていただくことに努めてきました。また「金谷小ホームページ」においても写真とともに週1回程度の更新を行いました。また、児童の作品を積極的に各種コンクールに出展し、多くの入賞者を出すことができました。	3.4	○ ホームページの定期的な更新により、地域や入学予定者、また卒業生に情報発信ができています。 ○ コンクールに作品を出展することで、金谷小学校の教育の現状を直に発信できていると思います。	3.6

評価スケール 4：期待以上（85%以上） 3：ほぼ期待どおり（60%以上85%未満）

2：やや期待を下回る（40%以上60%未満） 1：改善を要する（40%未満）

○ 上記のスケールで自己評価を実施しました。

総評

- 地域を生かした取組や教育が十分できており、特色ある教育に結びついていると思います。
- 競争心に不安を感じます。少人数の中で競争力を高めるのは難しいとは思いますが、負けない努力と根性をもたせることができたなら、今後益々の学力やスポーツの向上、生活の習慣に結びつくのではと思います。
- 全体としましては、先生方が非常に地域を理解し、思い溢れる情熱のもと、各教育活動に取り組んでいることが児童や保護者に伝わっています。今後の取組も非常に期待できる所です。